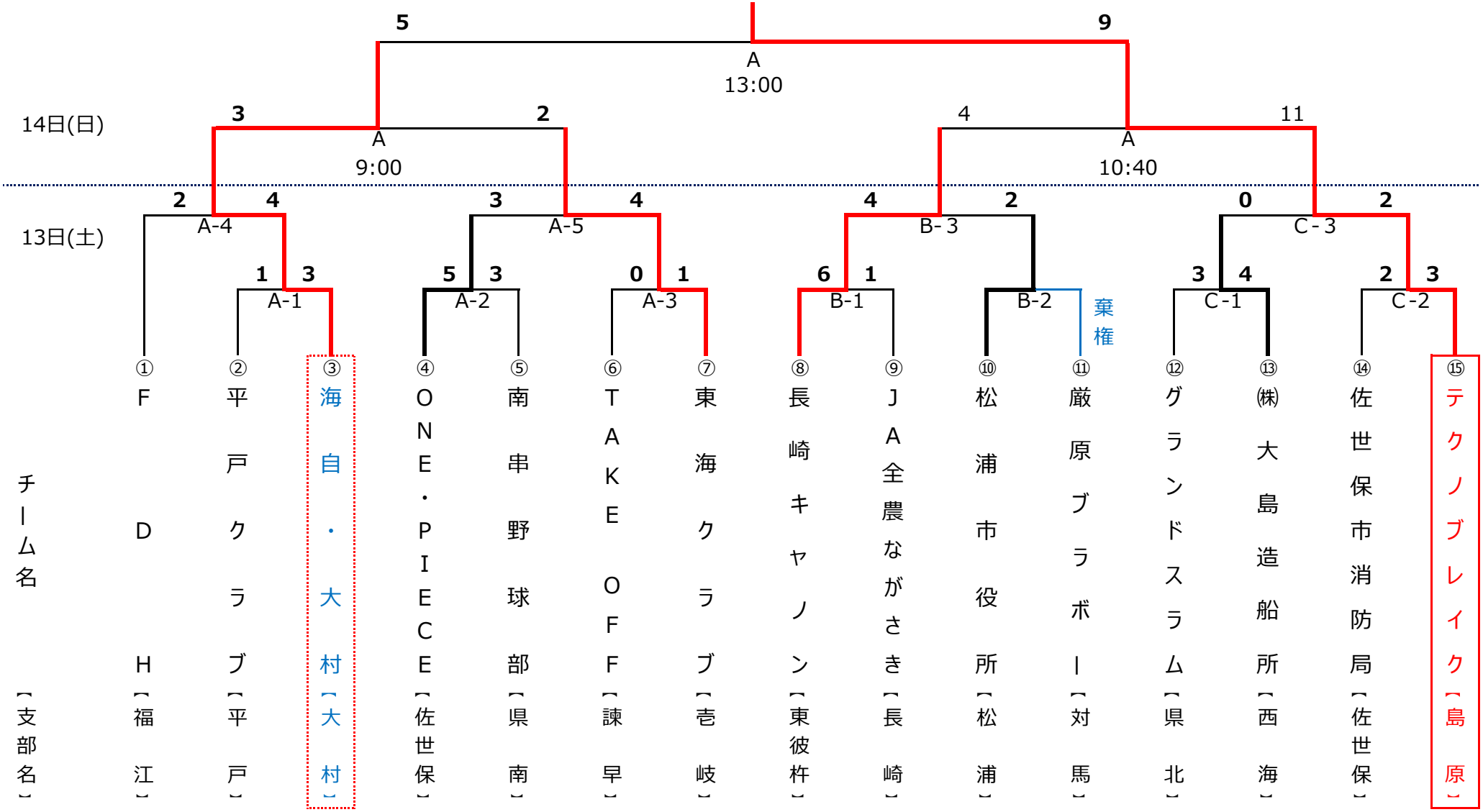
第41回　西日本軟式野球（2部）長崎県大会

会期：平成31年4月13日(土)～14日(日)

会場	A：佐世保総合グラウンド野球場 B：青のまち松浦スタジアム C：佐世保市鹿町町　千鳥越野球場

西日本大会　6月7日(金)～10日(月)　鹿児島県

テクノブレイク(島原)＝初優勝



【一回戦】A①	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
平戸クラブ	1	0	0	0	0	0	0				1
海自・大村	0	0	0	0	3	0	X				3

【審判】天野、永井、荒河、堀

【一回戦】A②	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
ONE・PIECE	0	0	0	0	2	0	3				5
南串野球部	0	0	0	0	0	0	3				3

【審判】荒河、田中、天野、鴨川

【一回戦】A③	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
東海クラブ	0	0	0	0	0	0	0	0	1		1
TAKE　OFF	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0

延長八～九回はタイブレーク戦　【審判】永井、堀、山下、荒河

・東海クラブの投手は九回を
ノーヒット・ノーラン
・城戸投手の完封？…　or
継投によるノーヒット・ノーラン？

【一回戦】B①	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
長崎キャノン	0	1	0	5	0	0					6
ＪＡ全農ながさき	0	0	0	1	0	0					1

六回時間切れ

【一回戦】B②	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
厳原ブラボーの棄権で松浦市役所の勝利											

【一回戦】C①	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
㈱大島造船所	3	0	0	0	0	0	0	1			4
グランドスラム	0	0	2	0	0	1	0	0			3

延長八回はタイブレーク戦　【審判】北島、西村、北村、松田

【一回戦】C②	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
テクノブレイク	0	0	0	1	0	0	0	2			3
佐世保市消防局	0	1	0	0	0	0	0	1			2

延長八回はタイブレーク戦　【審判】前川、永田、門田、山辺

【二回戦】A④	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
FDH	0	1	1	0	0	0					2
海自・大村	2	2	0	0	0	0					4

六回時間切れ　【審判】相馬、岩永、田中、田川

【二回戦】A⑤	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
東海クラブ	0	0	0	2	0	1	1				4
ONE・PIECE	3	0	0	0	0	0	0				3

【審判】田川、藤瀬、岩永、荒河

【二回戦】B③	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
長崎キャノン	1	0	0	1	0	0	2				4
松浦市役所	0	0	0	2	0	0	0				2

【二回戦】C③	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
㈱大島造船所	0	0	0	0	0	0	0				0
テクノブレイク	1	0	1	0	0	0	X				2

【審判】北島、前川、西村、松田

【準決勝】A⑥	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
海自・大村	0	0	0	1	2	0	0				3
東海クラブ	0	0	0	0	0	0	2				2

【準決勝】A⑦	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
テクノブレイク	0	0	0	2	4	2	3				11
長崎キャノン	0	2	1	0	1	0	0				4

【決勝】13:45～15:50　2時間05分	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計	打	安	点	球	犠	振	盗	残	失	併
海自・大村	4	0	0	0	1	0	0			5	27	7	4	8	1	7	0	10	3	0
テクノブレイク	3	2	0	1	3	0	X			9	25	6	6	10	1	6	0	9	0	0

(審判)天野、荒河、下條、吉永

海自・大村	一	二	三	四	五	六	七
④　屋良　龍紀	B	5-3	…	4-3	…	B	…
⑨　中村　友貴	K	4-3	…	中二	…	中安	…
⑧　北別府貴美	B	ＤＢ	…	9F	…	ＤＢ	…
⑥　志方　瑞樹	B	1F	…	…	5-3	1F	…
⑤　福丸　嵩大	B	…	左二	…	K	6-4	…
②　鬼塚脇怜音	左中二	…	5-3	…	B	…	6F
⑦　佐々木　亮	K	…	K	…	左二	…	6-3
③　川部　　開	K	…	K	…	4-3	…	中安
①　山口　大翔	…	一内安	…	8F	…	K	3A

◆上記メンバー以外の登録

(監督)田端幹治、蒲原将能、吉嶺信人、種浦大地、
福田竜平、久本丈善、村田拓海、松崎大樹、
小林健二郎、西本理貴、西村勝義

双方合わせて18四死球。大村海自の山口は最終六回の三者凡退以外は五回までに10四球で134球。テクノブレイク先発の高本も六回を投じ８四死球122球。雨中での２時間超えゲームだった。

先手を取ったのは初回の海自大村。４四球押し出し後に暴投。更に鬼塚脇の２点二塁打で４点を挙げて優位に立った。

その裏のテクノブレイクは先頭安打から犠打失と四球の二死満塁から連続四球押し出した後に暴投で１点差。二回に先頭から連続四球が一死後に投犠打(安打)と悪送球で同点とし二三塁に前田の投ゴロで下田が本塁を突き勝ち越すと、四回は敵失から安打と四球の一死満塁に暴投を得て加点。五回にも四球からの一死三塁に柴田の適時打。前田が安打の二三塁に大町の２点二塁打で３点を加えダメ押し点。

海自大村は二回以降も３二塁打含む毎回安打で積極的に攻撃するが全て単発で、得点となったのは五回二死後に四球走者を一塁から佐々木の左二塁打で還した１点のみ。残塁数は二桁の10個を記録し、平成25年に長崎県で開催の『国体リハーサル』西日本２部大会以来６年ぶり二度目の中央大会進出を逃がした。

テクノブレイク	一	二	三	四	五	六	七
⑦　下田　啓太	右安	B	9F	…	…	…	…
H7　宮﨑　直樹	…	…	…	…	4A	…	…
④　柴田　史哉	5-3E	3F	…	5E	左安	…	…
③　平野　大輝	K	投内安	…	左安	6F	…	…
⑥　前田　　拓	1-3	1-3	…	B	右安	…	…
⑨　大町　佑平	B	4F	…	K	左二	…	…
⑤1　中村　聡太	B	…	K	B	7F	…	…
②　森川　拓海	B	…	B	K	…	7F	…
①　高本　勝貴	K	…	6F	K	…	…	…
H5　山本　晃輔	…	…	…	…	…	4-3	…
⑧　福島　誉也	…	B	B	…	B	5-3	…

◆上記メンバー以外の登録

金子勇利、和泉孝洋、和泉弘大、坂本崇
塚本雄大、田浦祐太、山本悠大

優勝のテクノブレイクは柴田史哉監督(21)以下、登録18人が19～21歳。昨年に新規登録し、島原支部代表で西日本と高松宮賜杯の２県大会に出場して１勝２敗。２年目の３大会目で西日本大会への長崎県代表となった。